

## 連携中枢都市圏とは

- 地方圏において、昼夜間人口比率おおむね1以上の指定都市・中核市と、社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏
- 地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成

### 岡山連携中枢都市圏形成の経緯

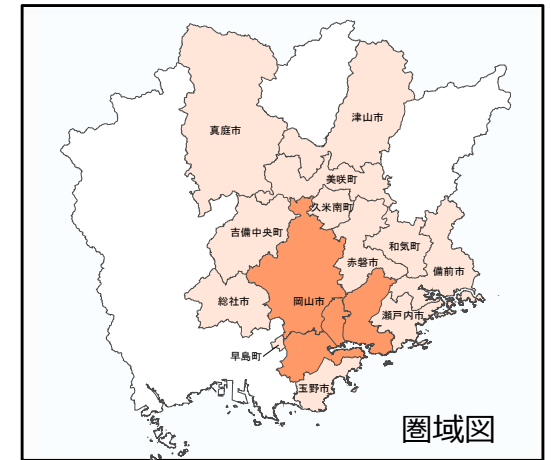
- ◆ 平成28年8月 岡山市が連携中枢都市宣言を行う。
- ◆ 平成28年10月 岡山連携中枢都市圏形成に係る連携協約を連携中枢都市である岡山市と連携市町の7市5町との間で締結(取組の内容にあわせて随時更新)
- ◆ 平成29年3月 岡山連携中枢都市圏ビジョンを策定(取組期間:H29.4~R4.3)
- ◆ 令和4年3月 第2期岡山連携中枢都市圏ビジョンを策定(取組期間:R4.4~R9.3)

連携中枢都市圏に求められる  
三つの役割

圏域全体の経済成長のけん引

高次の都市機能の集積・強化

圏域全体の生活関連機能サービスの向上



## 連携中枢都市圏ビジョン懇談会とは

- 連携中枢都市圏ビジョンの策定又は変更にあたって、連携中枢都市が開催する連携中枢都市圏ビジョン懇談会における検討を経て、各連携市町村と当該市町村に関連する部分について協議を行う。
- 連携中枢都市圏の取組内容に応じて、連携中枢都市圏形成に係る連携協約等に関連する分野や機関の代表者等により構成

第2期岡山連携中枢都市圏ビジョン

策定、変更



意見

連携中枢都市圏  
ビジョン懇談会

連携中枢都市  
(岡山市)



協議

連携市町